

## せせらぎ



令和4年 11月 21日  
富士市立原田小学校  
学校だより 11月号

(令和4年度 重点目標) ○「いいね。」を広げよう ○よく聞いて 自分の考えをもとう

## 修学旅行が無事行われました

校長 大橋 幸治

10月29日、韓国でハロウィンに集まった人々が将棋倒しになるという事故がありました。2001年7月の明石市の歩道橋事故を私は思い出しました。どちらも、参加者が増えたことで、安全対策が間に合わなかったための事故でした。一方で、11月5・6日に行われた岐阜の信長まつりでは46万人、静岡大道芸は69万人の人が集まりましたが、大きな事故は起きませんでした。危険を予知して手立てを講じること、点検や見直しを繰り返すこと、情報を集め適切な判断をすることが大切であることは、学校での生活にもそのまま当てはまります。

コロナ感染症対策のため、学校での行事は制限の中で行われております。活動の意味や効果を今まで以上に考え、どの線までなら活動と安全安心を両立できるか、校内に検討委員会を設け、活動の見直しを随時行っております。検討することが多いため、時間がかかってしまうこともありますが、御了承いただければ幸いです。

さて、11月15日(火)16日(水)に6年生は名古屋に1泊2日の修学旅行に行ってきました。事前の体調管理、健康観察・検温の徹底、手洗いと消毒、会話時のマスクの着用等、基本的な感染対策を行うこと、そして何よりも子供ひとり一人が自覚をもって行動することで、元気に充実した修学旅行を行うことができました。

見学地は、一日目は名古屋港水族館、名古屋城本丸御殿、ラグーナテンボス、変なホテル。二日目は豊橋のんほいパーク、TOYOTA 田原工場に行きました。

子供たちは、グループごと思い思いに活動したり見学したり生き生きと活動する場面と、時刻を意識して集合したり宿泊先や見学先で挨拶したり整然と活動する場面をしっかりと区別することができました。

子供たちのメリハリのある態度が周りの方々にも影響を与え、添乗員さんや運転手さん、ガイドさん、また見学場所や宿泊先の係りの方々から「よい経験になるように」と細やかな配慮や心遣いをいただくことができました。

自分ができることを誠実に頑張ることで、周りの応援を得ることができ、活動をよりよいものにしていく貴重な経験ができました。「『いいね』が広がる」今回の体験を、今後の学校生活の中で生かしていければと思います。

